

山行報告

関東ふれあいの道 神奈川⑫丹沢山塊東辺のみち

今井 秀正

2018年10月20日（土曜日）晴

参加者：鶴田、高橋、大西、渡辺、小島、今井（6名）

コース：小田急線本厚木駅－坂尻バス停－半原越－仏果山－半原バス停－本厚木駅

関東ふれあいの道のうち“丹沢山塊東辺のみち”を歩いた。

本厚木駅前から午前8時40分の宮ヶ瀬行きのバスに乗り約40分、坂尻バス停で下車。ここは宮ヶ瀬湖の南端から南東に7.5km程のところにある山間の静かな集落。関東ふれあいの道のコースは、ここからなぜか舗装した林道を歩いて標高差約300m上の最初のポイントである半原越えを目指すことになっている。コースの最高峰、仏果山を目指すならば歩程は3分の一程度で半原越（はんばらごえ）西の稜線に出る道があるが急登のようではある。でも林道歩きは指定された経路なので仕方がなく、雑談をしながら1時間40分ほど歩いた。高層には秋の薄い雲はあるものの、風も弱くてさわやか、気持ちがいい。半原越手前で小島さんの脚がつる症状が出たため、手当ての後、様子を見ながらゆっくり歩くことにした。

半原越には左仏果山、右経ヶ岳の標識がある。経ヶ岳を経る関東ふれあいの道⑪「北条武田合戦場のみち」も坂尻からここまでは同じ道をたどることになる。3月までには歩く計画だが、できれば舗装道路歩きは遠慮したいところだ。

仏果山方面のコースに入ると50m程度だろうと思うがいきなり階段の急登だ。コースは所々にベンチとテーブルがあって休みつつ進むことが出来る。落葉樹は多いのだが、紅葉はまだ見られず、緑は夏より濃いといってよいほどだ。コース上に動物除けのネットがそこそこに見られるが、ほとんどがその役を果たしていない。少々見苦しい残骸化している。

仏果山に近づくと次第に岩が出始め、両側は切れ落ちている。小さな岩稜のアップダウンが四つ、五つ続いた後、仏果山頂747mに到着。シャリバテ気味で早速遅い昼食。

周囲は雑木で囲まれ、展望は全くないが頂上北側に高さ10m以上と思われる立派な展望台がある。登ってみると東側に関東平野西部の大展望が見られる。新宿や横浜の高層ビル群、江の島、遠くは房総半島まで見渡すことが出来た。

ゆっくり歩いてきたこともあって15時近くになっていた。暗くならないうちにコースの目的地である半原市街のバス停へ急ぐことにして下山開始。一帯の空気が不安定で雷雨の恐れがあるという予報通り、怪しい雲の出方が気になったが、17時丁度にバス停に到着した。17時20分発のバスで走り出したら外は雨。雨にもやられず、無事に下山が出来て何よりの一日だった。例によって本厚木駅前では反省会の後、解散。

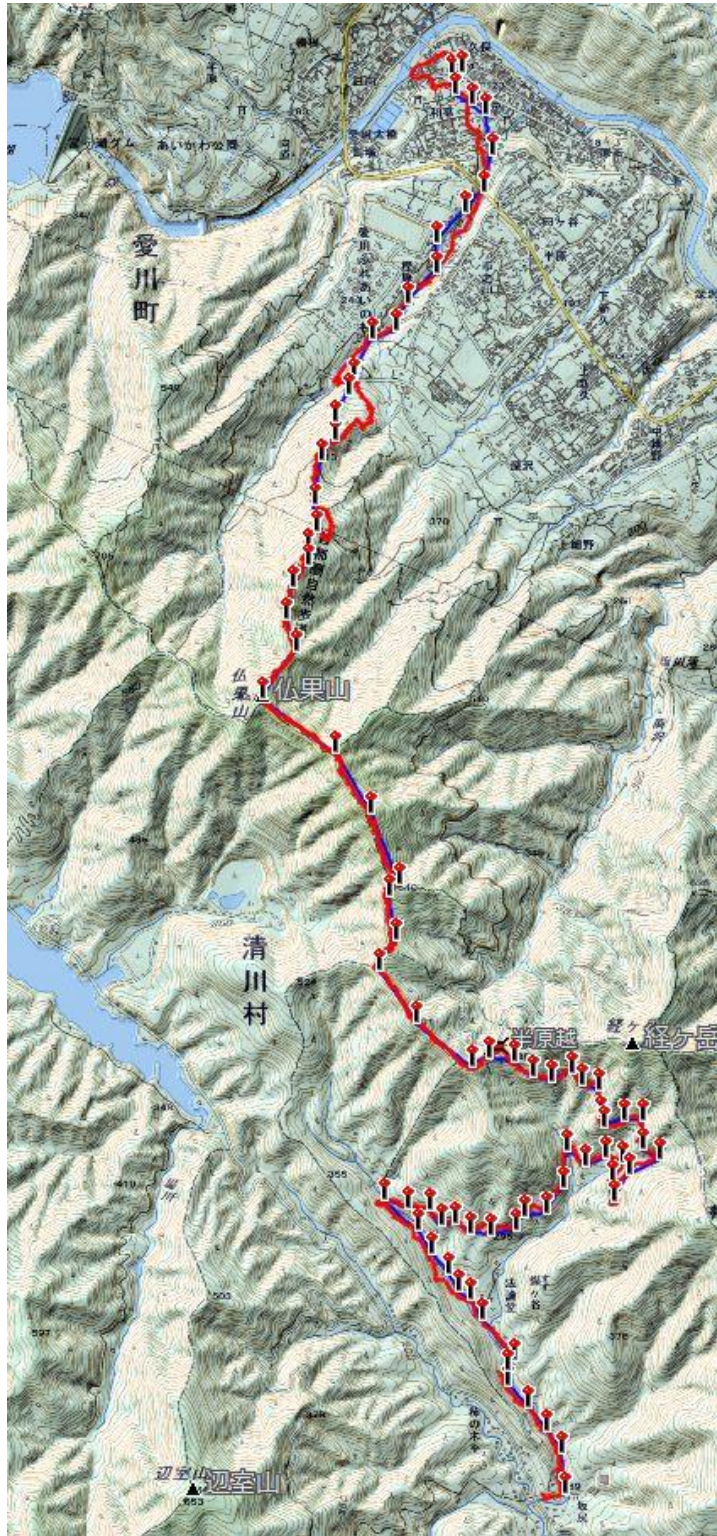
仏果山山頂（渡辺さん撮影）



コース標高記録（渡辺さん提供）



歩行記録（渡辺さん提供）



以上

